



2024. 2. 9. No1441
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
<http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/>

1. 指導漁業士 2 名、青年漁業士 5 名を認定 — 令和 5 年度 県漁業士認定式 —

県は、1 月 23 日に県庁西館会議室において、「令和 5 年度静岡県漁業士認定式」を執り行いました。

漁業士の認定制度は、県が地域における漁業の推進や後継者の育成など指導的役割を担っている漁業者を認定するもので、昭和 61 年に創設され、令和 4 年度までに指導漁業士 149 名、青年漁業士 135 名が認定されています。

今年度新たに認定された漁業士は、指導漁業士 2 名、青年漁業士 5 名の計 7 名で、下記の方々となります。認定された皆様方には、今後一層のご活躍をお祈り致します。

<指導漁業士>▽岡部宗由氏（西伊豆町 かご漁業他）▽鈴木友宏氏（御前崎市 船曳網漁業）

<青年漁業士>▽山田龍哉氏（西伊豆町 刺網漁業他）▽内山雄斗氏（東伊豆町 一本釣り漁業他）▽埴 史也氏（東伊豆町 一本釣り漁業他）▽芹澤卓也氏（富士市 船曳網漁業）▽平林 馨氏（富士宮市 マス類養殖業）

2. セーフティーネット構築事業 第 3 四半期補填発動 — 燃油 12 期連続発動！ —

令和 5 年度漁業経営セーフティーネット構築事業の第 3 四半期（10～12 月）補填判定結果が、漁業用燃油で 1 月 24 日に、養殖用配合飼料で 1 月 29 日にそれぞれ（一社）漁業経営安定化推進協会から公表されました。

漁業用燃油では引き続き海外情勢による原油価格の高騰に加え、円安による影響もあり、第 3 四半期の平均原油価格が 77,783.3 円/kℓとなり、直近の 7 中 5 平均原油価格 47,372.8 円/kℓを上回ったため、現在経済産業省が実施している燃料油価格激変緩和補助金見合い分の 9,240 円/kℓを減額した、補填単価 21,170 円/kℓで補填発動が確定し、12 期連続で補填が発動することとなりました。

養殖用配合飼料についても、第 3 四半期の平均配合飼料価格が 240,355.0 円/トと高止まりしており、直近の 7 中 5 平均配合飼料価格 188,205.1 円/トを大幅に上回ったため、補填単価 52,140 円/トでの補填発動が確定し、8 期連続での発動となりました。

2 月の中旬から下旬頃に、令和 6 年度の加入申込が始まりますので、現状の燃油・配合飼料の価格高騰に対する対策として、漁協担当者におかれましては本事業への加入推進の一層の呼びかけをお願い致します。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

また、本事業への加入は、いくつかの補助事業を実施するための必須要件となっておりますので、令和 6 年度に加入をお考えの方は、加入申込期日の 3 月末までに所属の漁協まで申込をして下さい。

3. 第 58 回静岡県海の子の作品展入賞者決定 — 320 点の応募がありました —

本会並びに東日本信用漁業協同組合連合会静岡支店は、漁村の次代を担う海の子を対象に、「豊かな海」と「漁業」について理解を深め、漁業に夢を持った子供たちを育てることを目的として、毎年「静岡県海の子の作品展」と題した絵画コンクールを開催しています。

第 58 回となる本年度の作品展には県下 29 の小・中学校から 320 点の作品の応募があり、昨年 11 月 14 日に審査会が開催され、審査員 3 名による審査の結果、小学校の部で焼津市立小川小学校 6 年の瀧井直輝さん、中学校の部で吉田町立吉田中学校 1 年の加藤聡吾さんの作品が最高賞に当たる静岡県知事賞に選ばれたのをはじめ、20 名の各賞受賞者が決まりました。

なお、審査会で入賞した 20 点の作品については、本会ホームページ上に掲載していますので是非一度ご覧になってください。

4. 第 63 回通常総会・2024 年度研修会を開催 — 県漁協青壮年部連合会 —

県漁協青壮年部連合会（小林大介会長）は、1 月 26 日に県水産会館 5 階大会議室において第 63 回通常総会を開催しました。

総会では、小林会長挨拶の後、来賓の県水産・海洋局の吉野統括官並びに、本会高瀬常任理事が祝辞を述べ、引き続き伊豆漁協下田支所青壮年部の菊池宏行氏を議長に選任し、2023 年度事業報告、2024 年度事業計画、2024 年度会費の徴収時期、徴収方法について審議され、提出された議案は全て原案どおり可決承認されました。

また、任期満了に伴う役員を選任が行われ、会長には引き続き小林氏が選任されました。

総会終了後に開催された 2024 年度県漁協青壮年部研修会では、吉野統括官が「海業の振興に向けて」と題し講演を行いました。

5. 桜えび秋漁の水揚結果 — 水揚数量・水揚金額ともに昨年より増加 —

静岡県桜えび漁業組合（實石正則組合長）では、11 月 1 日夜に初出漁した秋漁を、12 月 24 日をもって終漁しました。

今秋漁では 17 回出漁を行い、水揚数量は 192 トン、水揚金額が 708,627 千円となり、昨年の秋漁に比べ水揚数量で約 10 トン増加し、単価も上昇したため、水揚金額は約 143,948 千円増加する結果となりました。

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう